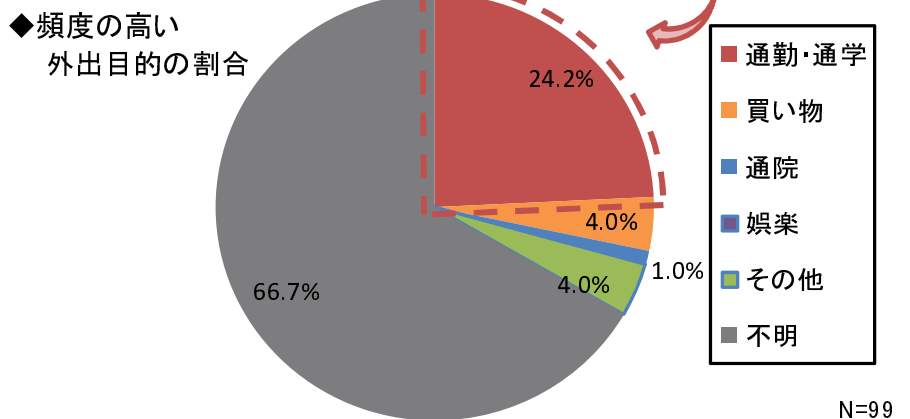
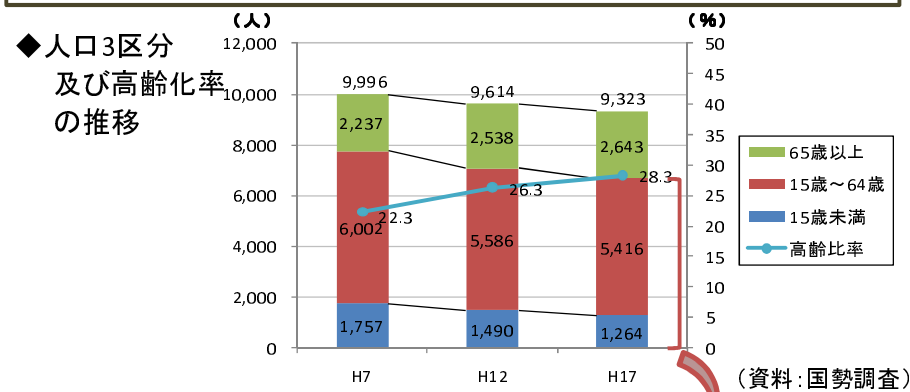


カルテ①: 羽黒地域における現況とニーズの整理

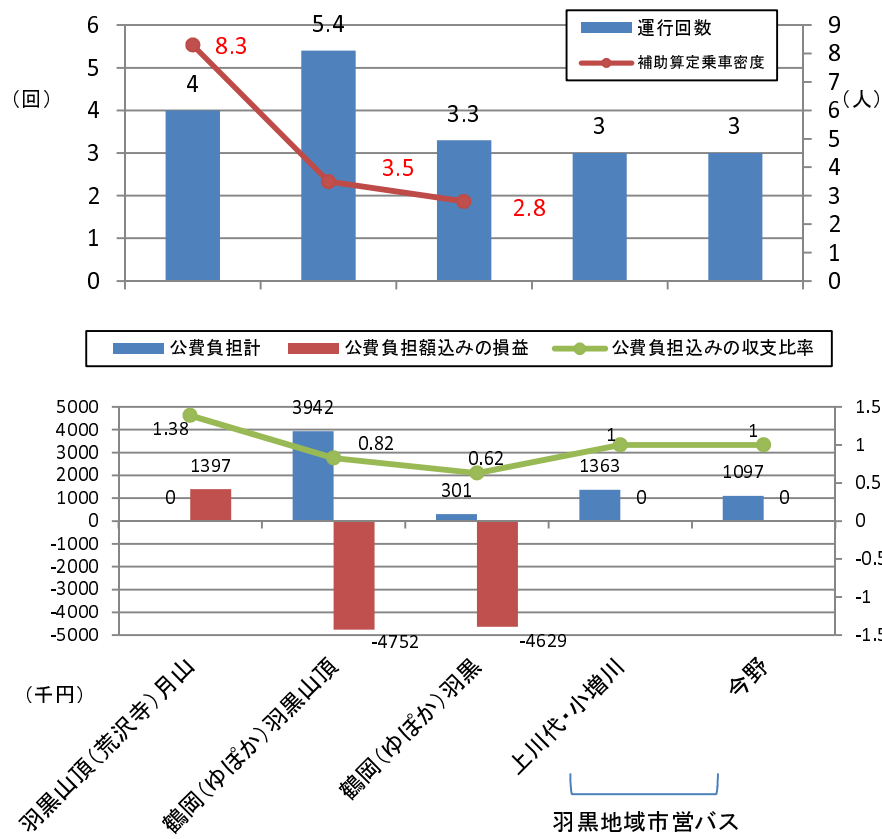
人口動態

○人口は緩やかな**減少傾向**である。
 ○一方、高齢化率は**増加傾向**である。
 ○人口の約72%を占める65歳未満のうち、頻度の高い外出目的は、「**通勤・通学**」が最も多く**24.2%**を占めている。



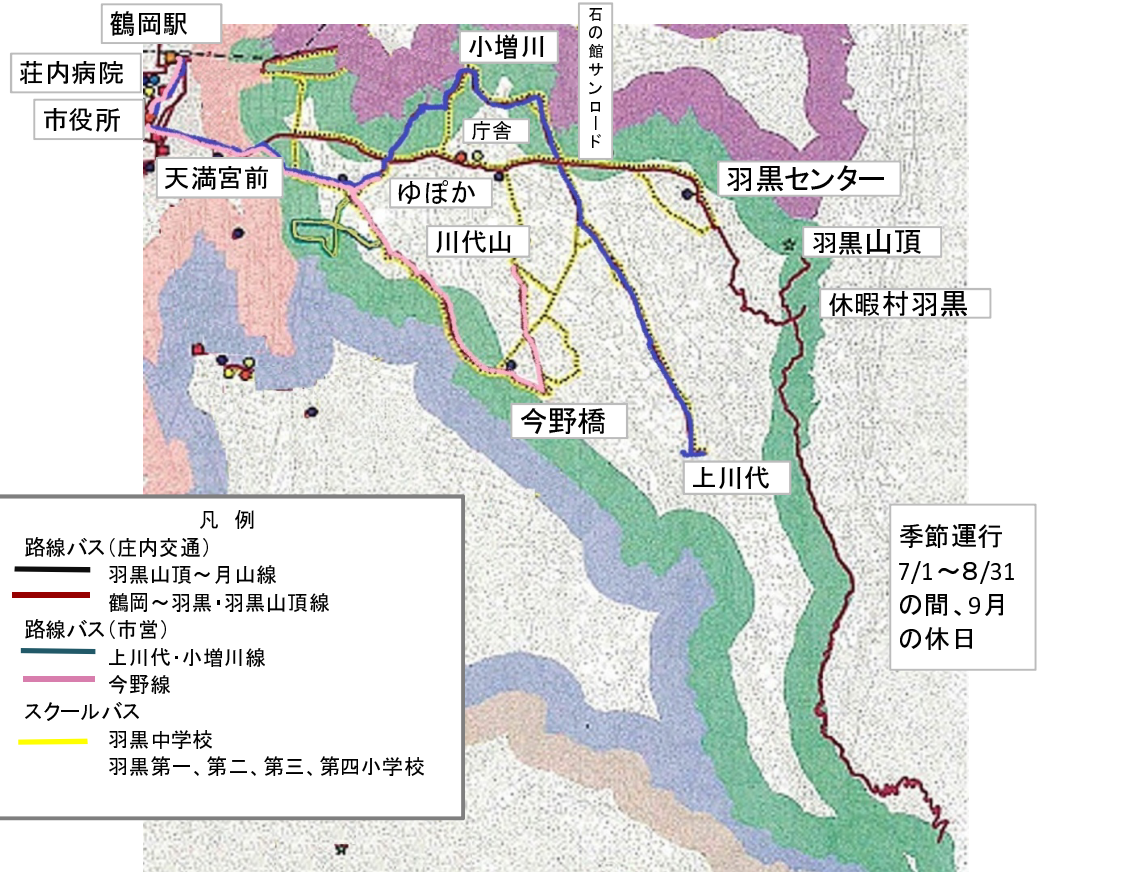
地域内の人の動き

○「羽黒山頂(荒沢寺)月山山頂」は交付負担なしの黒字路線であり、「上川代・小増川」「今野」は羽黒地域市営バスである。
 ○「鶴岡(ゆぼか)羽黒」の収支比率が62.9%と低い。



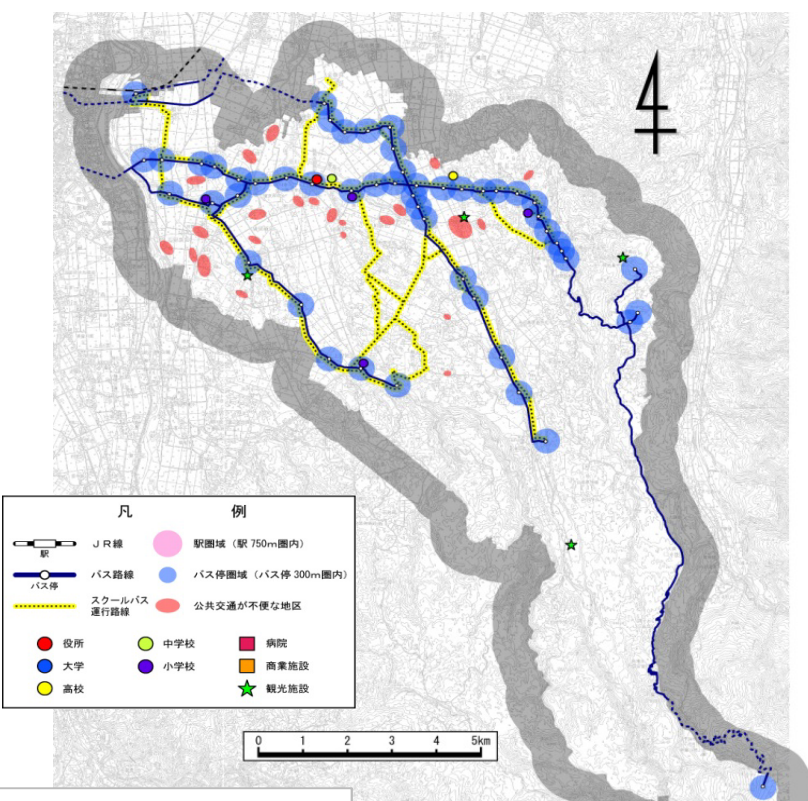
バス運行路線図

○路線バスは6路線あり、市街地から放射線状に運行されている。
 ○スクールバスは、概ね路線バスに重複する形で運行されている。



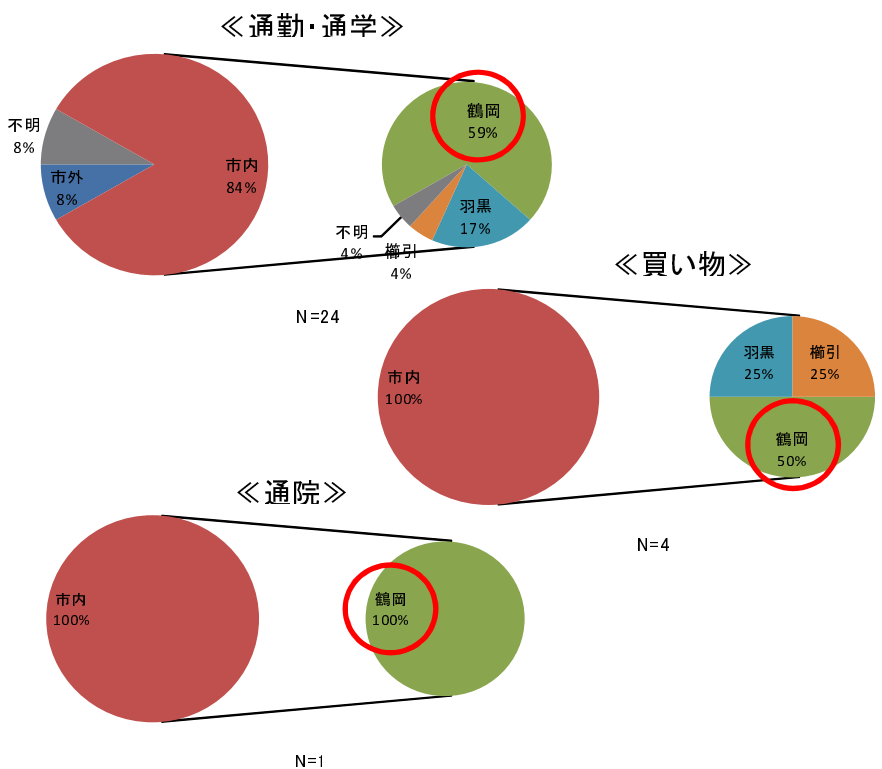
主な目的施設と公共交通空白区域図

○現状の路線バスの路線網は主な施設を通るように運行されている。
 ○公共交通空白域は路線の変更により減少している。



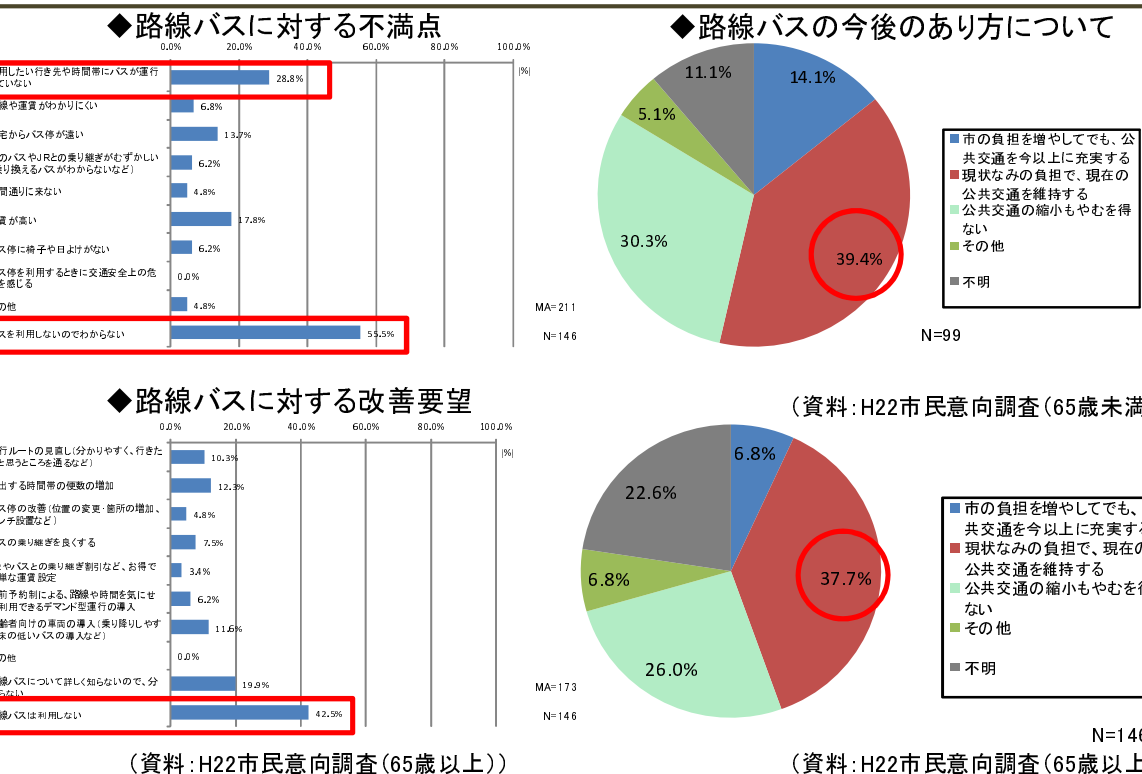
地域内の人の動き

○通勤・通学、買い物、通院において、**鶴岡地域が主な行先**となっている。



住民ニーズ(市民アンケート調査結果)

○路線バスに対する不満点は、「**利用したい行先や時間帯にバスが運行していない**」が**28.8%**となっている。
 ○一方、「**バスを利用しないのでわからない**」が**55.5%**と最も多く、**路線バスの利用率は低い**。
 ○今後のあり方について、65歳未満と65歳以上で「**現状なみの負担で、現在の公共交通を維持する**」が最も多くなっている。



カルテ②: 羽黒地域における課題の解決に向けた方針と対策

問題点・課題

【問題点】既存のバス路線、車両が分かりにくく、利用したい行先や時間帯に運行しているバスが無い地域がある。

↓
【課題】現在運行している様々な「バス」の運行形態や行き先を再整理し、効率的な運行形態に変える必要がある。また、地域住民や観光目的の来訪者が、利用したい(できる)バス路線の再編や、円滑に利用できるよう案内する。

- 羽黒地域内へのバスは主に鶴岡駅が起終点となっているが、各バスの案内の統一性がない。
- 地域には、著名な観光拠点が複数存在するが、公共交通で周遊できず、利用できても案内や運賃が不統一な状況にある。

【問題点】地域の人口減少に伴い、バス利用者の確保が困難な状況となっている。

↓
【課題】バス運行を効率化し、利便性を高め、地域住民の日常生活および地域内外の観光目的によるアクセスにおいてバスを利用しやすい環境をつくる必要がある。
バス運行を希望している地域があり、バス運行経路の見直しなどが必要とされている。

- 羽黒地域内の人口は、市内他地域と同様、年々減少傾向となっており、高齢化が進んでいる。観光入り込み客数は減少傾向であるが年間110万人以上となっている。
- 地域住民の日常生活における目的地と観光客の目的地の方向が一致している箇所もあり、活用の可能性がある。

【問題点】地域住民は、マイカーへ依存をしている状況にある。

↓
【課題】公共交通空白域が少なく、バス停が最寄りにあるにも係わらず、「利用したことがない、利用の仕方を知らない」等の住民が多いため、公共交通のPRを強化し、公共交通の利用促進を図る必要がある。

- 地域内は、比較的路線バス網が整備されているにも係わらず、マイカー利用が多く、公共交通が未活用な状況にある。
- 住民の中には、最寄りにバス停が設置され、バスが利用可能にも係わらずバス利用率が低いため、認知度をより高める必要がある。

対策方針(案)

方針① 既存の公共交通体系の見直し

■ 既存路線の見直し

・現在、地域内で運行している、民営バス、市営バス、その他施設の目的バスなどを、地域の公共交通として総合的に捉え、効率的で利便性の高まる運行形態に見直しを図る。

■ 車両の見直し

・現在、運行している、各方面・各目的のバスについて、目的地をイメージできるような案内や広告などを掲載し利用者が迷わずに乗りたいバスに乗り込める環境を整備する。

方針② まちづくりとバスの連携

■ 地域とのタイアップ

・地域住民の日常的なバス利用のほか、地域の観光拠点や商業施設などを訪れる地域内外の来訪者がバスを活用できるような、地域内での仕組みを構築する。

方針③ 公共交通利用に対する市民意識の醸成

■ バス利用促進に向けたPR

・地域住民が、毎日の通勤・通学や買い物、通院など、様々な目的で利用可能なバスを選択できるような、

対策メニュー(案)

■ 既存路線の見直し・車両の見直し

- メニュー1: 住民・観光目的利用者が多い「鶴岡-羽黒」線の幹線バス化と枝線運行の連携向上。
- メニュー2: 観光目的利用や地域住民等の利用者ニーズに合った運行経路や運行時間帯見直し、バス車両や乗り場の案内を分かりやすくする。
- メニュー3: 観光・商業施設等の送迎交通との連携による効率的な運行。

■ 地域とのタイアップ・バス利用促進に向けたPR

- メニュー4: 地域住民、学校、観光施設、地元商店街などとの連携による、地域一帯となったバス利用の促進。
- メニュー5: 通勤・通学、通院、買い物等の住民需要、羽黒山、手向宿坊街、映画ロケオープンセット、月山高原ハーモニーパーク周辺、松ヶ岡、玉川寺、ゆぼか等の観光需要のバス利用促進、需要の掘りおこし。
- メニュー6: 地域住民、観光目的来訪者のバス利用を促す、モビリティ・マネジメント(MM)の実施。

